

～正の数と負の数のわり算～ めあて：ルールに従って，符号が決められる

※わり算は下の2パターンに分かれる

同じ符号のわり算： $\oplus \div \oplus$ ， $\ominus \div \ominus$ ： \oplus (絶対値 \div 絶対値) \Rightarrow 符号は+になる

異なる符号のわり算： $\oplus \div \ominus$ ， $\ominus \div \oplus$ ： \ominus (絶対値 \div 絶対値) \Rightarrow 符号は-になる

～たしかめよう！～

【例1】 $(-15) \div (+5)$ の計算をしましょう。

教科書p.36 例4を見よう

$(-15) \div (+5)$ の計算では，

符号は，負の数 \div 正の数で []

絶対値は， $15 \div 5 = 3$

だから， $(-15) \div (+5) = []$

同じ符号のときは，+
異なる符号のときは，-
と覚えておこう！

【例2】次の計算をしましょう。

教科書p.36 例4を見よう

(1) $(+24) \div (-4) = -(24 \div 4) = []$

(2) $(-42) \div (-7) = []$ ($42 \div 7) = []$

～やってみよう！！～

【問1】 $(-32) \div (+8)$ の計算をしましょう。

$(-32) \div (+8)$ の計算では，

符号は，負の数 \div 正の数で []

絶対値は， $32 \div 8 = 4$

だから， $(-32) \div (+8) = []$

【問2】次の計算をしましょう。

(1) $(+54) \div (-6) = -(54 \div 6) = []$

(2) $(-27) \div (-9) = []$ ($27 \div 9) = []$

～といてみよう！～

① 次の計算をしましょう。

(1) $(+8) \div (+4)$

(2) $(-6) \div (+2)$

(3) $(+18) \div (-3)$

(4) $(-36) \div (-4)$

(5) $(+10) \div (-16)$

(6) $(-5.6) \div (+0.7)$

～ ふりかえり・質問コーナー ～

～問題集をやってみよう！～

p.